

稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップ

2024年度公募説明会

以下の設定でお待ち下さい：

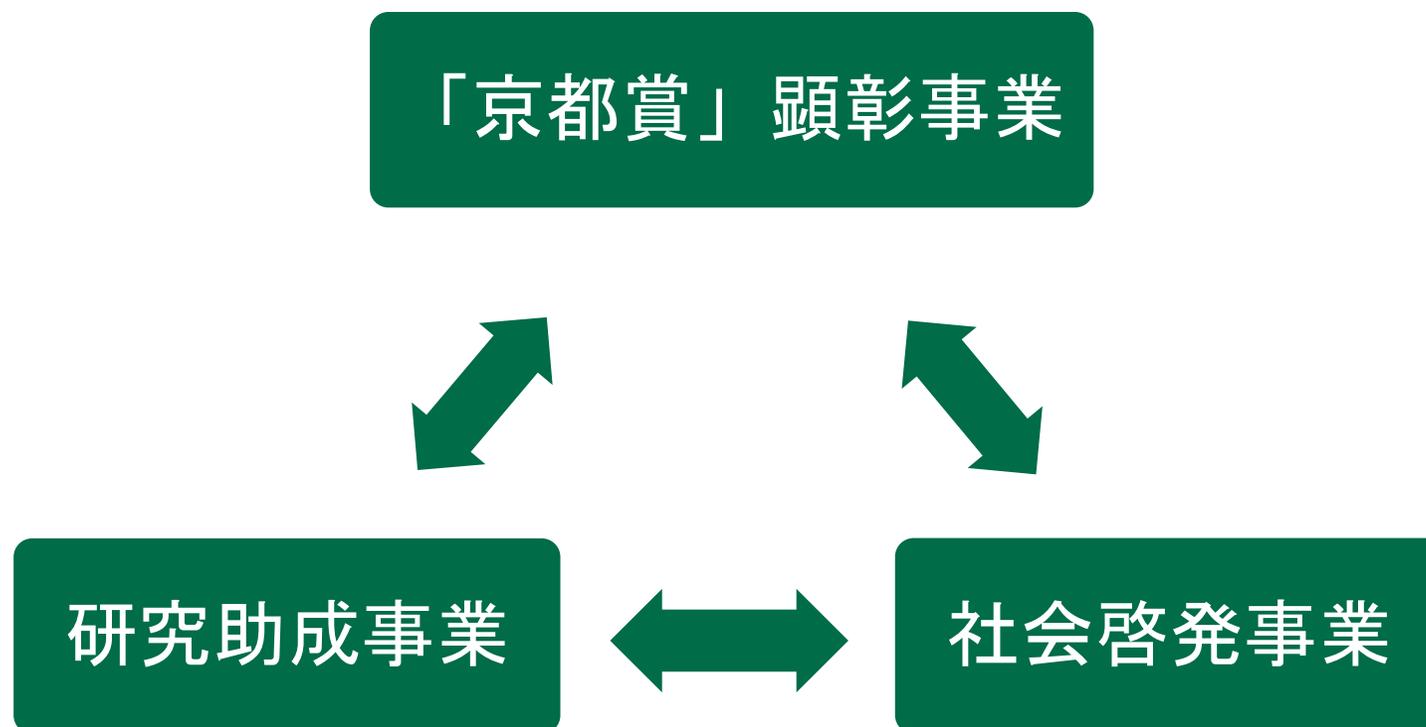
- マイクオフ
- ビデオオフ

本日の内容

1. 稲盛財団とInaRISフェローシップ
2. 募集要項記載内容
 1. プログラムの趣旨
 2. 運営体制
 3. 募集対象
 4. 制度概要
 5. 選考
 6. 手続方法
 7. 個人情報の取り扱いについて
 8. その他
3. 申請書サンプル

1. 稲盛財団とInaRISフェロースhip

稲盛財団について



1. 稲盛財団とInaRISフェローシップ

InaRISフェローシップ

研究助成事業

稲盛研究助成

分野問わず

50名

100万円

稲盛科学研究機構（InaRIS）フェローシップ

自然科学・基礎研究

2名以内

1,000万円 x 10年

2.1. プログラムの趣旨

目的

知的好奇心に導かれた真理の探究や
基礎科学の社会的意義が尊重される文化の醸成

日本の科学を牽引する人材の育成

2.1. プログラムの趣旨

特徴

研究者「人」そのものを応援する

長期間にわたる助成: 10年

研究者のネットワーク: InaRISフェロー

2.1. プログラムの趣旨

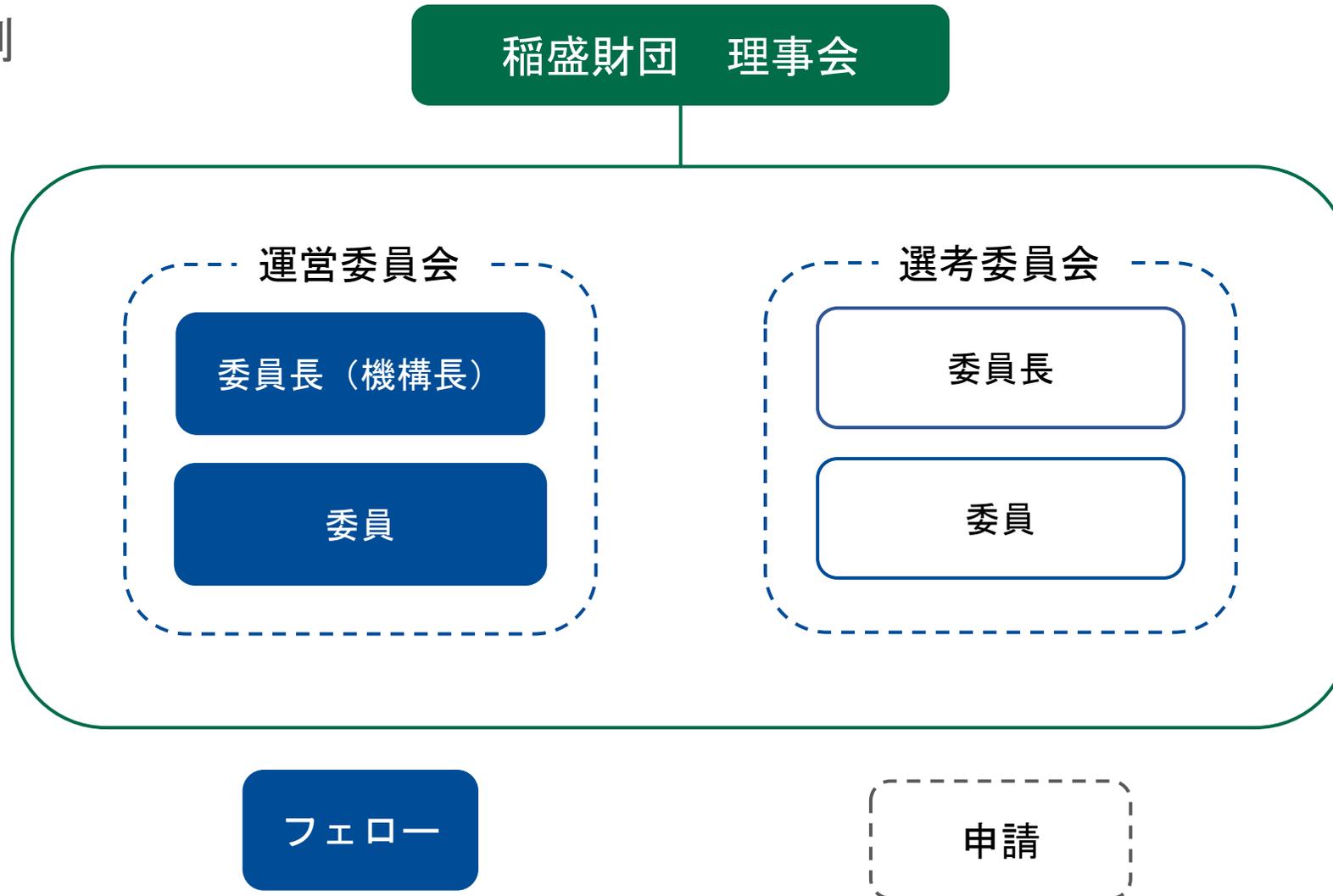
InaRISフェローに求めるもの

長期的な視野で挑戦的な研究を推進

InaRISの一員としても研究活動

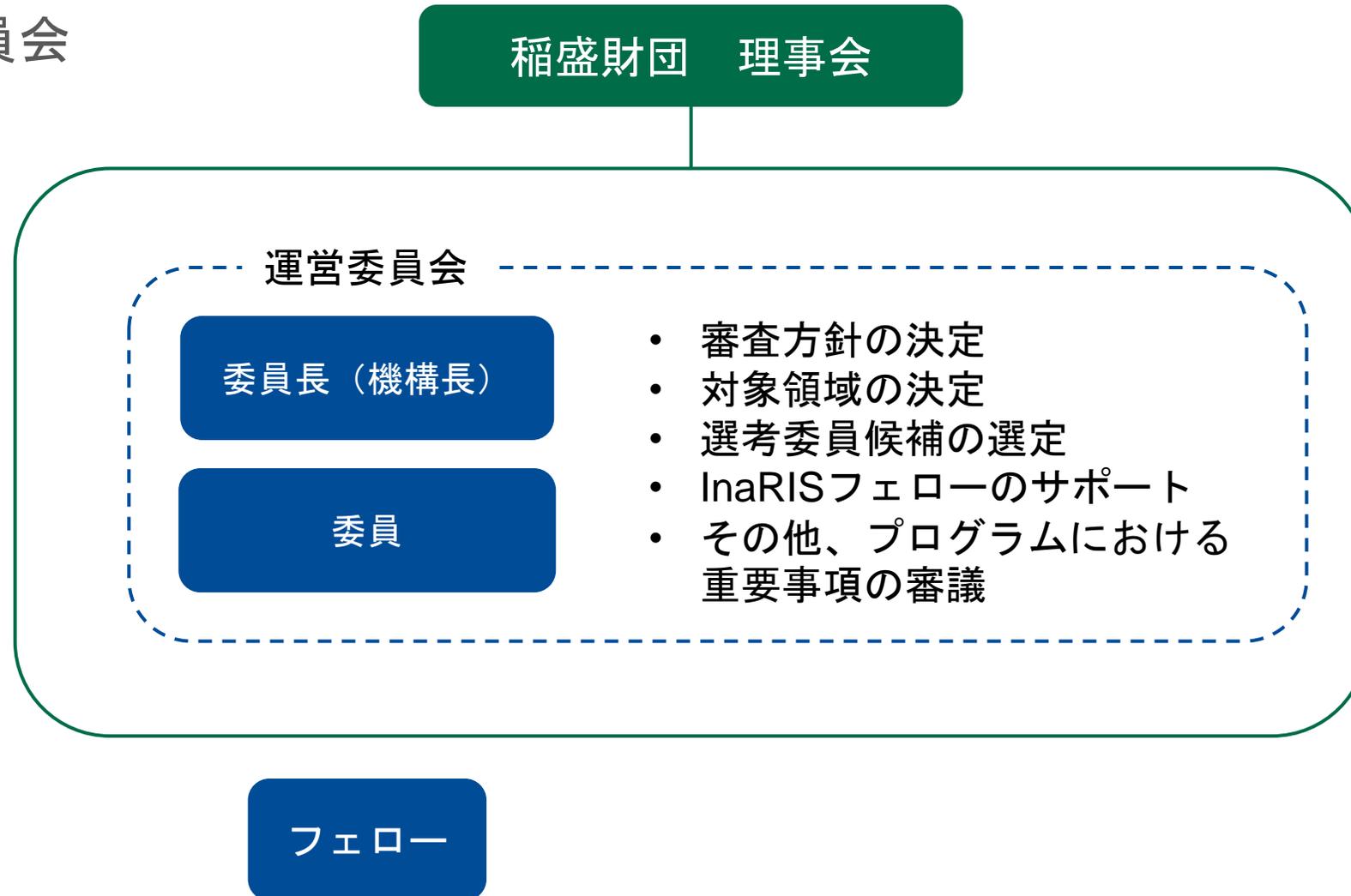
2.2. InaRISの運営

実施体制



2.2. InaRISの運営

運営委員会



2.2. InaRISの運営

運営委員会

機構長	中西 重忠	京都大学 名誉教授
委員	岡田 清孝	京都大学 名誉教授
	小林 誠	高エネルギー加速器研究機構 特別名誉教授
	榊 裕之	奈良国立大学機構 理事長
	西尾 章治郎	大阪大学 総長
	森 重文	京都大学高等研究院 院長・特別教授
	山中 伸弥	京都大学iPS細胞研究所 名誉所長・教授

2.2. InaRISの運営

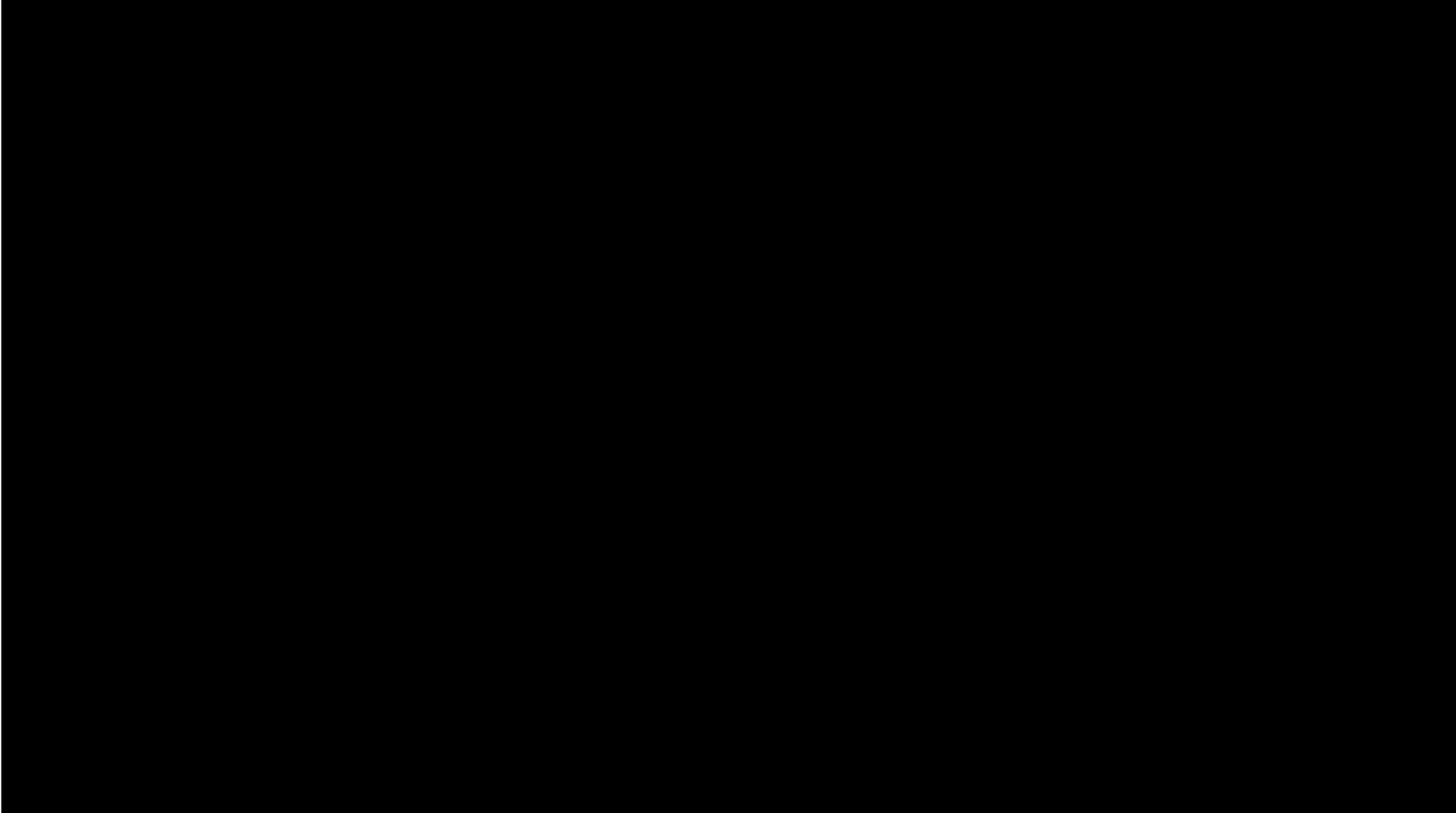
選考委員会

募集対象となる研究の専門家
フェローと同時に公表

2.3. 募集対象

①対象とする研究

2024年度 異分野コンバージェンスによる革新的医療の創出



2.3. 募集対象

①対象とする研究

2024年度 異分野コンバージェンスによる革新的医療の創出

- 人類、社会にとって、「医学・医療」の究極のゴール（ビジョン）は何か、また現在の医療におけるアンメットメディカルニーズを明確にする。
- アンメットメディカルニーズを満たすために、既存技術の単なるアップデートではなく、どのような分野・技術のコンバージェンスが必要となるかを明確にする。
- コンバージェンスによる革新的イノベーションを医療として社会実装するための真の課題とその解決法を明確にする。社会実装のために新たなコンバージェンスの必要性も考慮する。

2.3. 募集対象

②申請者の資格

- a. 指定研究機関※¹に所属※²
- b. 独立研究者(PI)で、准教授以上※³
- c. 助成開始時に50歳以下※⁴
- d. 稲盛研究助成と重複していない※⁴

本プログラムは、研究者の多様性を重視し、性別、国籍問わず様々な研究者を支援するものです。特に女性研究者からの積極的な応募を歓迎いたします。

※¹ 全国約180の大学・研究機関

※² 申請年度及び助成年度1年目

※³ 大学以外は准教授相当

※⁴ 助成年度開始4月1日時点

2.4. 本制度の概要

①採択人数と助成金額

採択人数

2名

助成金額

直接経費: 1,000万円 x 10年

間接経費: 100万 (上限) x 10年

2.4. 本制度の概要

②助成金の使途および管理

使途

直接経費： 研究活動に必要な経費
ポスドクや研究を補佐するスタッフの人件費など

間接経費： フェローの研究活動に伴う研究機関の管理などに
必要な経費

管理

所属機関の定めに従う

2.4. 本制度の概要

③研究期間

10年間

2024年度～2033年度
(2024年4月1日～2034年3月31日)

2.4. 本制度の概要

④フェローの責務

- ・ 本人の所属に「Inamori Research Institute for Science」も記載
- ・ フェローに選ばれた年の助成金贈呈式への出席
- ・ 年に1度のアドバイザリーボードへの出席、進捗状況の報告
- ・ 1年ごとの会計報告書提出
- ・ 年に1度、稲盛財団による研究室訪問の受入れ
- ・ 3年目および6年目に中間報告書の提出と、中間審査への参加
- ・ 期間中に1回以上稲盛財団のアウトリーチ活動への協力
- ・ 終了後1ヶ月以内に報告書を提出
- ・ 終了後の成果発表会開催

その他、稲盛財団の主催する行事への出席、出演をお願いすることがあります。

2.4. 本制度の概要

⑤InaRISフェローの決定

助成開始年3月に決定

⑥助成金の贈呈時期

助成開始年度4月に贈呈

以後、毎年4月に振り込み

2.4. 本制度の概要

⑦助成の停止

- ・ 停止

不正使用、不正受給、不正行為について疑義が持たれた場合

- ・ 再開

停止の原因が解決または終了したと財団が判断した場合

- ・ 返還および助成中止

不正として確定した場合（後出⑨を適用）

2.4. 本制度の概要

⑧助成の中止

- ・ 本人が死去、または病気等により研究の継続が著しく困難になった
- ・ 海外の研究機関に異動した
- ・ 本人が下記以外の研究機関に異動するなど、活発な研究活動が不可能になった
 - 1) 大学、および大学共同利用機関
 - 2) 国の機関、地方公共団体の機関・地方独立行政法人
 - 3) 独立行政法人・国立研究開発法人・独立行政法人等登記令別表に掲げる法人
 - 4) 「文部科学大臣指定の機関」のうち公益財団法人である研究機関

* 短期大学、高等専門学校は不可
- ・ 不正使用、不正受給、不正行為が判明した
- ・ 稲盛科学研究機構の名誉を著しく傷つけた

2.4. 本制度の概要

⑨不正使用、不正受給又は不正行為への対応

助成金の一部または全額を返還
以後の助成も中止

2.4. 本制度の概要

⑩発明等に係る知的財産権の取扱いについて

フェローに帰属

ただし、所属する研究機関の規程
などに従ってください

2.4. 本制度の概要

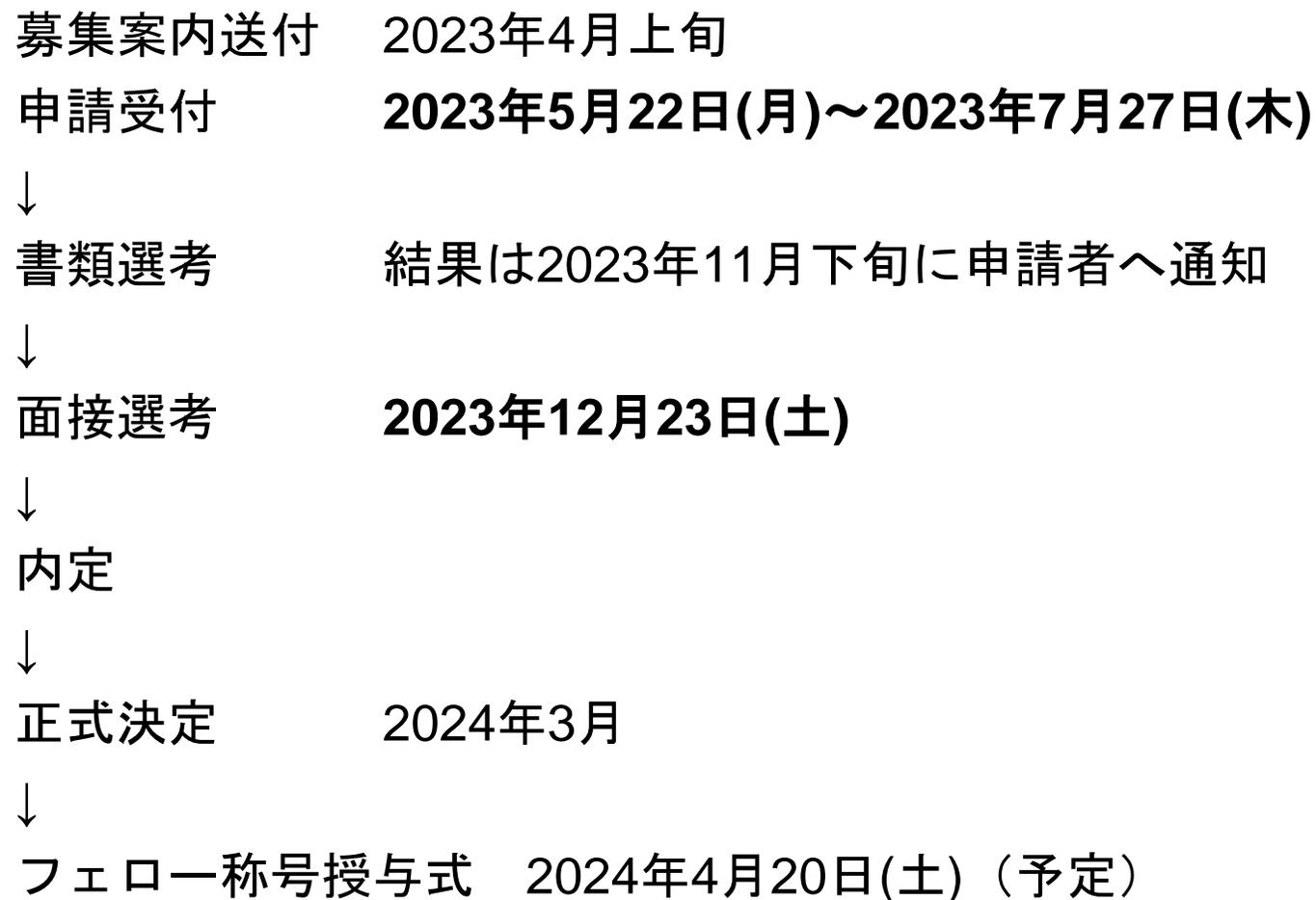
⑪研究倫理について

所属機関の研究倫理に関する各種規程や指針
に従ってください

2.5. 選考

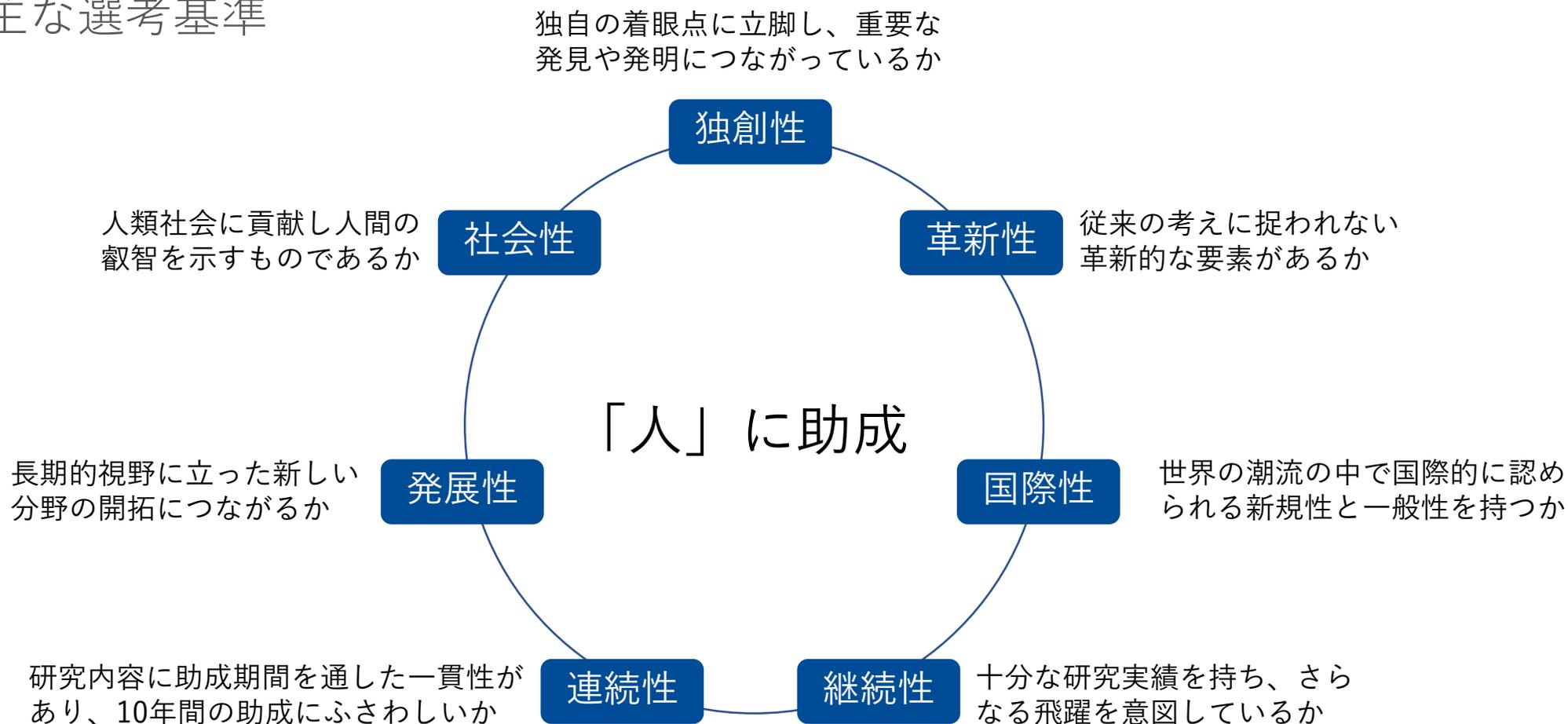
①選考プロセス

2024年度InaRISフェロー選考スケジュール



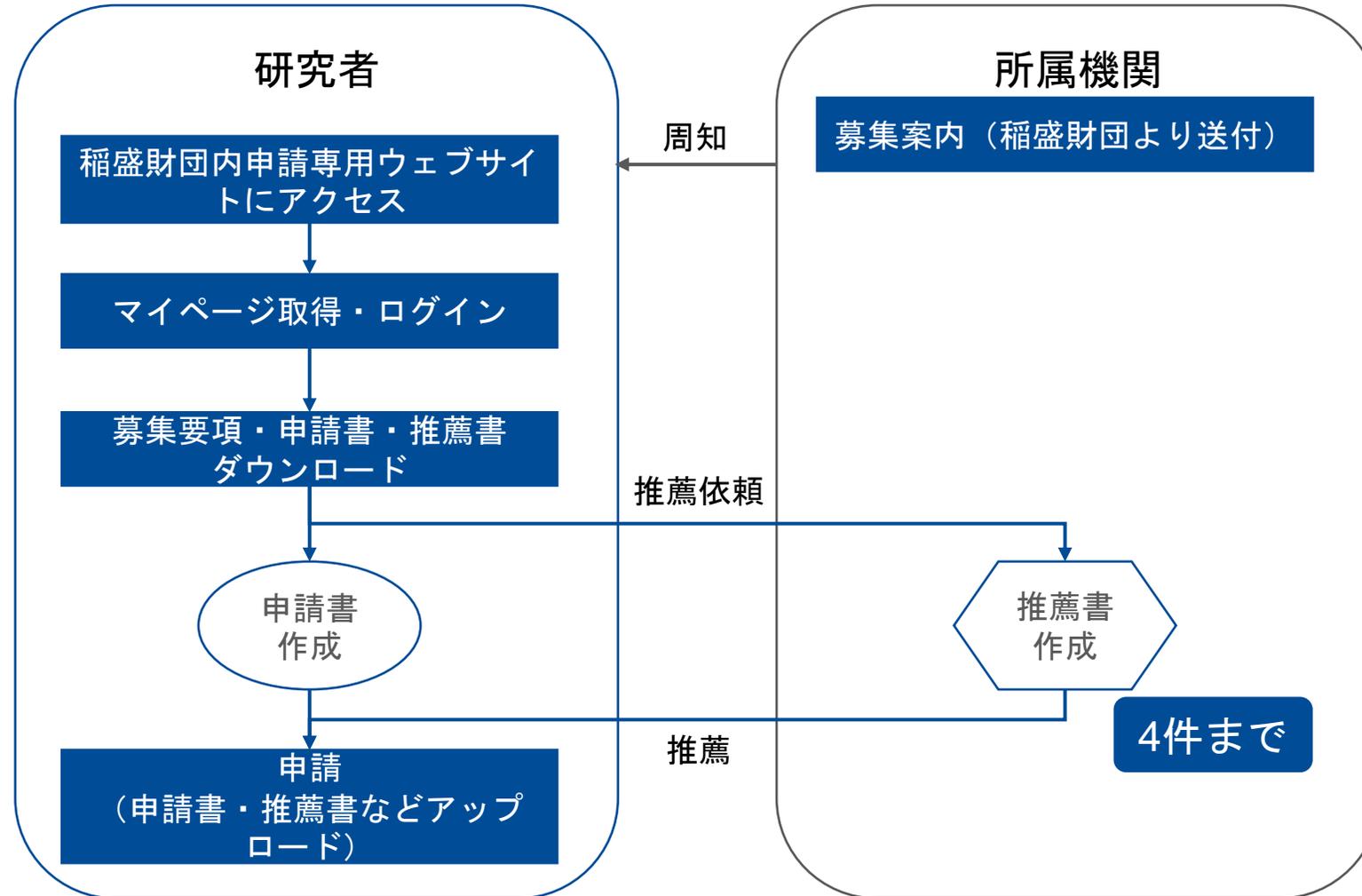
2.5. 選考

② 主な選考基準



2.6. 応募手続

① 応募方法概要



2.7. 個人情報取り扱い

申請書に記載された個人情報は、下記の用途に限り使用いたします。

- 選考※および選考結果の通知
- フェローに決定した場合の、対象者の氏名、所属、肩書き、研究題目、概要※の公表、およびその後の各連絡
- フェローに決定した方の推薦者へのフェロー授与式の案内状の送付

※申請書は照会先の方に見ていただく場合があります

※公表する研究概要は、改めて本人に作成いただきます

3. 申請書サンプル

1. 基礎情報＋提案研究の概要：
ウェブフォームに直接入力

2. 研究内容：
↓Word様式ダウンロード
↓入力
↓PDFに変換してアップロード

3. 推薦書：
↓Word様式ダウンロード
↓所属機関に記入・押印依頼
↓PDF化に変換してアップロード

1. 研究者としてのアピールポイントおよび考え方
2. 本研究を推進する動機および抱負
3. 申請者の略歴
4. 申請者の主な著書・論文・特許（計10冊/報まで）
5. 研究目的・背景・内容（詳細）
 1. 科学的な問いおよび目的
 2. 着想に至った経緯とこれまでの研究実績
 3. 本研究分野の国際的な視野に立った現状の説明
 4. 本研究の内容
6. 本研究開始後3年間の具体的研究計画
7. 本研究の学術的独自性と創造性
8. 現時点で想定される主な用途（初年度分）
9. 申請者の研究活動についての照会先（2名）
10. 研究資金の獲得状況
 1. 解説
 2. 一覧表作成

研究提案の視点

- 人類、社会にとって、「医学・医療」の究極のゴール（ビジョン）は何か、また現在の医療におけるアンメットメディカルニーズを明確にする。
- アンメットメディカルニーズを満たすために、既存技術の単なるアップデートではなく、どのような分野・技術のコンバージェンスが必要となるかを明確にする。
- コンバージェンスによる革新的イノベーションを医療として社会実装するための真の課題とその解決法を明確にする。社会実装のために新たなコンバージェンスの必要性も考慮する。

2.8. その他

問い合わせ先

〒600-8411

京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町620

公益財団法人 稲盛財団 助成部

Tel: 075-746-2543 Fax: 075-353-7270

E-mail: inaris@inamori-f.or.jp